

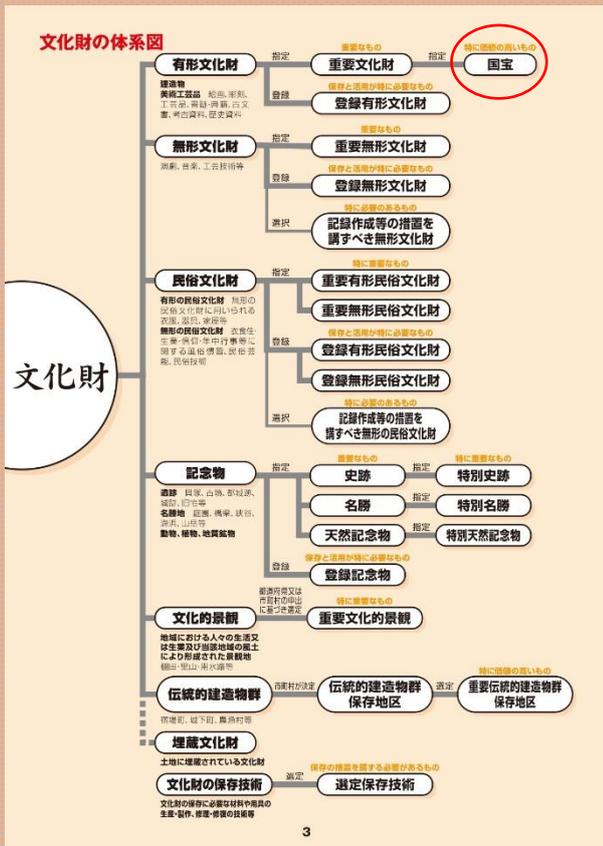
ぶんかざいまるちなび

No.59

文化財 知 ナビ

このニュースレターは、「文化財に親しむ機会の提供に関する事業」の一つとして、身近な文化財情報をはじめ、文化財を活用した事業などの紹介を行っています。ぜひ学校教育や生涯学習の場で広くご活用ください。

しらたきいせきぐんしゅつどひん こくほう 北海道白滝遺跡群出土品が国宝指定へ！



国の文化審議会は、令和4年11月18日に、「北海道白滝遺跡群出土品」を国宝に指定するよう文部科学大臣に答申しました。

本道では函館市の土偶に続く2例目の国宝となる見込みです。

《そもそも国宝とは？》

国宝とは、左の図（文化庁HP参照）のとおり、国が重要と定めた有形文化財である重要文化財のうち世界文化の見地から価値の高いもので、言葉のとおり国の宝たるものが指定されます。現時点で日本の国宝は、美術工芸品で902件、建造物で230件の合計1,132件が指定されています。（令和5年1月1日現在）

《国宝「北海道白滝遺跡群出土品」とは？》

遠軽町白滝地区の「白滝遺跡群」から出土した黒曜石の石器や、原石から石器を製作する過程を示す接合資料などで構成されており、全1,965点からなる、約15,000～30,000年前の遺物であり、わが国で最も古い国宝となります。

後期旧石器時代前半期から後半期に至る石器の移り変わりや組み合わせをはっきりと追うことができるわが国の旧石器時代遺跡出土遺物の中でも、内容・質量ともに群を抜く一括考古資料です。

これらは、遠軽町埋蔵文化財センター（電話0158-48-2213）で公開されているので、ぜひ御覧ください。

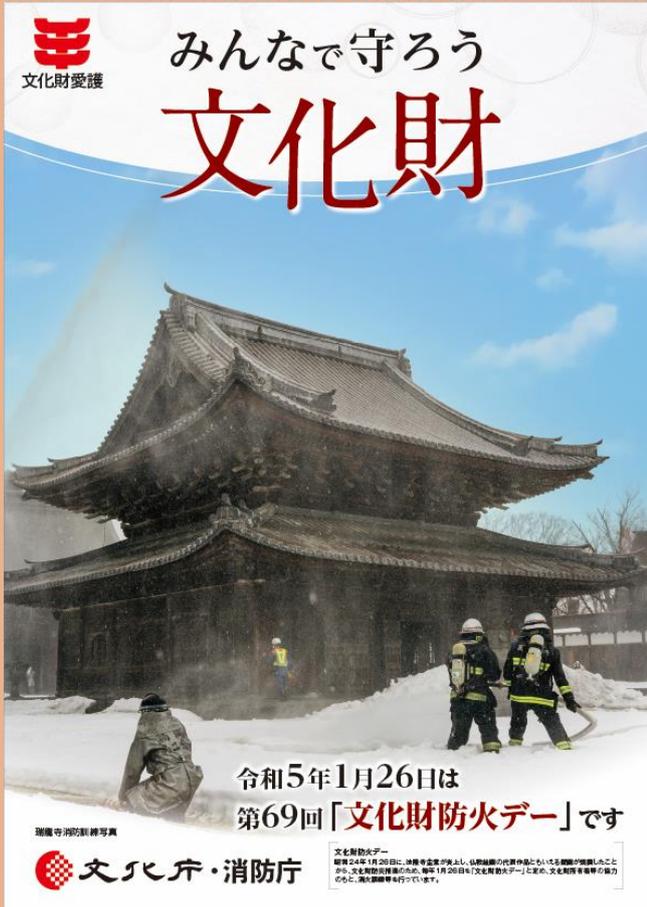


「北海道白滝遺跡群出土品」
(写真提供：北海道立埋蔵文化財センター)

文化財を^{まも}っていこう！

「文化財」とは、長い^{れきし}歴史の中で生まれ、^{はぐく}育まれ、^{こんにち}今日まで^{つた}守り伝えられてきた^き貴重な^{ちよう}財産^{ざいさん}のことで、さきほど挙げた国宝も「文化財」です。

そして「文化財」は地震や^{かさい}火災等の^{さいがい}災害で壊れてしまったり、なくなってしまうと、二度と^{もと}戻すことができない^かかけがえのない財産です。



ここ数年では、平成31年4月にフランス、ノートルダム^{たいせいどう}大聖堂及び令和元年10月に沖縄県、首里城跡^{しゅりじょうあと}が^{しょうそん}焼損してしまっています。

国は毎年1月26日（^{ほうりゆうじこんどうへきが}法隆寺金堂壁画が^{ほうか}焼損した日）を、「文化財防火デー」に定め、文化財を火災、震災その他の災害から^{あいご}守り、文化財^{かんしん}愛護への^{ほうさい}関心を高めるために、全国各地で文化財防災運動を行っています。

防災運動では建築物等に係る防火・防災訓練や、文化財周辺の地域住民に対する防火・防災指導等の取組や、有形文化財の^{はんしゆつくんれん}搬出訓練等の実施も推進しています。

第69回文化財防火デーポスター

《防災訓練の様子》

松前町教育委員会では、令和4年1月26日の「文化財防火デー」に、国指定重要文化財である福山城（松前城）本丸御門に係る火災発見時の通報等の対応及び消防署員による放水訓練を松前消防署と連携して実施しました。

このような非常事態を想定した訓練を行い、^{こうよう}防火意識の高揚を図り、大切な財産である文化財を^{すえなが}末永く守っていく意識を^{すいしん}推進しています。



消防士による放水訓練

文化財ニュースレター 文化財まる知ナビ No.59

発行 令和5年1月13日 編集・連絡先 北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課

【お問い合わせはこちらへ】 電話 011-231-4111（内線）35-618 メール kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp